

---

# 中国信息 (WTO/FTA・貿易・安全・その他)

---

2009年3月24日号

◎ 2009年2月における中国の主要農産物及び生産資材価格の動向  
【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年2月における中国の主要農産物及び生産資材価格の動向について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

農業部の160県定点物価情報ネットの観測によると、2009年2月の全国の農産物取引市場（農民が自らの農産物を販売する都市の自由市場）におけるトウモロコシその他原料穀物及び穀物製品価格は前月に比べ小幅に上昇し、豚及び豚肉価格は小幅下落、綿花及び油糧種子価格はやや上昇、野菜のうちピーマン価格は比較的大きく下落、食用油、水産物、その他の畜産物及びその他の野菜価格の変動幅はいずれも小幅であった。ほとんどの生産資材価格は前月安であったが、尿素価格はやや上昇した。

1 トウモロコシ価格はやや下落、その他原料穀物価格は小幅に上昇

トウモロコシの市場価格は、前月比0.7%安の50kg当たり74.13元となった。早生籾モミ（籾：うるち米の一種）、中生籾モミ、晩生籾モミ及びうるちモミ価格は、それぞれ94.86元、93.54元、98.08元及び97.72元、前月比1.1%高、0.7%高、1.9%高及び3.1%高となった。小麦価格は1.8%高の87.49元、大豆価格は0.6%高の227.65元となった。

前年同期比では、早生籾モミ価格が10%以上高騰した以外、その他のモミ及び小麦価格は5%前後の上げ幅にとどまり、トウモロコシ価格及び大豆価格は逆に10.9%安及び13.9%安となった。

2 白米及び小麦粉価格はやや上昇、トウモロコシ粉及び粟価格は小幅な上昇

中・晩生粳モミ、うるちモミ及び標準粉（小麦種子から殻と胚芽を除いた胚乳部分（小麦種子重量の約85%）を碾いて得られた小麦粉）価格は、50kg当たり161.31元、169.66元及び133.11円で、それぞれ前月比0.5%高、0.8%高及び0.3%高となった。トウモロコシ粉及び粟（あわ）価格は146.08元及び281.21元、前月比4.3%高及び4.7%高となった。前年同月比では、各品種とも上昇した。そのうち白米、小麦粉及びトウモロコシ粉価格の上げ幅は1.0～7.2%であった。小麦価格は17.5%の上昇で、穀物製品の中で上げ幅が最大となった。

3 豚及び豚肉価格小幅に下落、綿花及び油糧種子価格はやや上昇

畜産物のうち豚、豚肉、鶏卵及び牛肉価格は、それぞれ前月比5.3%安、3.0%安、2.9%安及び1.1%安となった。鶏肉及び羊肉（注：中国では、一般に綿羊とヤギを区別せずに「羊」と総称する。同様に、「羊肉」は綿羊肉とヤギ肉の総称）は、1.0%高及び0.1%高となった。

油糧種子及び食用油のうち、落花生、落花生油及び菜種価格は6.0%高、2.8%高及び2.4%高、大豆油及び菜種油価格は1.2%安及び0.7%安となった。

水産物のうちハクレン、タチウオ及びソウギョ価格は、それぞれ2.6%高、2.6%高及び0.3%高となった。コイ価格は0.7%安であった。

野菜では、ピーマン価格が10.9%安となった以外、その他の野菜価格の変動は小幅であった。

前年同月比では油糧種子、食用油、野菜、牛肉を除く畜産物価格はいずれも下落したが、そのうち大豆粕、落花生、豚及び豚肉価格の上げ幅は20%を超えた。水産物価格もやや上昇した。中国綿花協会の統計によると、2009年2月の328級綿花（標準綿花）の販売価格は1トン当たり11,214元で、前月比1.3%高・前年同月比18.2%安となった。

4 大部分の生産資材価格は下落、尿素価格はやや上昇

国産のリン酸第二アンモニウム、複合肥料、塩化カリウム及び農業用ディーゼルオイル（0番）価格は、それぞれ1トン当たり3,427元、2,507元、3,847元及び5,892元で、前月比では8.0%安、6.0%安、3.0%安及び0.9%安となった。国産尿素価格は、0.2%高の1,992元となった。

前年同月比では、塩化カリウム及び複合肥料価格がそれぞれ32.0%高及び4.3%高、農業用ディーゼルオイル、リン酸第二アンモニウム及び尿素価格が7.7%安、6.8%安及び1.6%安となった。